



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.9.9(金)

No. 66

文責
松永



アナウンサーによる絵本読み聞かせがありました



9月7日(水)に、校区内にあるテレビ局から、アナウンサーのお二人においでいただき、3年生を対象に絵本の読み聞かせがありました。2学級ずつの開催でした。会場となった音楽室のご案内していくと、「テレビで見たことある人だ」といった声が聞こえてきました。県内のニュースなどを報道されているアナウンサーの方々でしたから、子どもたちもより身近に感じたようで、関心も高まったようでした。本橋さん、清家さんのあいさつ、自己紹介に続いて、早速、読み聞かせが始まりました。

はじめは、清家さんによる『大きなかぶ』でした。「知ってるよ」「1年生の教科書にのっている話だね」と…。途中、大きなかぶを抜くときのかけ声“うんとこしょ どっこいしょ”の場面になると、みんなで体をゆらしながら合わせて言っていました。続いて、本橋さんによる『力太郎』こちらも話の中に出てくる擬音語に、子どもたちの笑顔が広がっていきました。3冊目の『にじいろのさかな』は、絵本を手にとられた段階で「うわ〜っ」と声上がるほど、きらきら光ったきれいな絵本でした。友達とのつながりが素敵なことを感じたようでした。そして、最後は本橋さんによる紙芝居『わくどになったおはぎ』これは、県内の菊池地方に伝わる民話だそうです。紙芝居と言えば拍子木の音から始まる…というのがわかるのはどれ位の年齢でしょうか？子どもたちにはなじみがなく、全くピンとこない様子でしたが、わくわく感が高まったようでした。話の展開に合わせて、左手に持った扇子がリズムよく打ち鳴らされるにつれ、お話の中にどんどん引き込まれていきました。そして、話が盛り上がったところで終了でした。「絵本の世界を肉声で伝えたい」というアナウンサーの思いから実現したこの取組でしたが、素敵な絵本と場面が浮かんでくるような読み聞かせで、あったかい気持ちになりました。3年生の子どもたちも大喜びでした。テレビ局とアナウンサーのお二人、ありがとうございました。



めあての実現に向けて



2学期のスタートに合わせて、それぞれにめあてを立てたことだと思います。2年生の掲示板には、学級目標の振り返りが記されています。1年生のめあてカードは毎月振り返ることで、取組が見直せるようになっています。

